

平成 24 年度 第 3 四半期決算について

1. 連結業績概要（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

● 売上高（営業収益）

当第 3 四半期は、販売電力量が 430.4 億 kWh と前年同期に比べ 8.5 億 kWh の減となったものの、燃料費調整制度の影響などにより、電気料金収入は 213 億円増加しました。これに加え、他の電力会社への販売電力量が増加したことなどから、**売上高(営業収益)**は 8,835 億円と、前年同期に比べ 366 億円の**増収**となりました。

● 経常利益

経営全般の効率化に努めたものの、島根原子力発電所 1、2 号機の運転停止等による原料費の増加などから、営業費用は 8,853 億円と、前年同期に比べ 839 億円の増加となりました。

この結果、18 億円の営業損失となりました。

また、支払利息などの営業外損益を加えた**経常損益**は 187 億円の損失となり、前年同期に比べ 439 億円の**減益**となりました。

● 四半期純利益

渴水準備金を取崩し、原子力発電工事償却準備金を引き当て、法人税などを控除した結果、136 億円の純損失となりました。

(単位：億円，未満切捨)

区 分	当第 3 四半期	前年同期	差 引	増減率
売 上 高	8,835	8,468	366	4.3%
営 業 利 益	△ 18	453	△472	—
経 常 利 益	△187	251	△439	—
四 半 期 純 利 益	△136	△ 4	△132	—

(参考)中国電力個別決算

(単位：億円，未満切捨)

区 分	当第 3 四半期	前年同期	差 引	増減率
売 上 高	8,344	7,988	355	4.5%
営 業 利 益	△115	365	△480	—
経 常 利 益	△246	195	△441	—
四 半 期 純 利 益	△162	△ 11	△150	—

2. 収支諸元(中国電力個別)

● 販売電力量

当第3四半期の販売電力量は430.4億kWhと、前年同期に比べ1.9%の減少となりました。

電灯は、夏季の高気温による冷房需要の増加や、11月から12月上旬の低気温による暖房需要の増加はあったものの、節電等の影響などから、前年同期を下回りました。

産業用の大口電力は、化学や鉄鋼が減少したことなどから、前年同期を下回りました。

(単位：億kWh)

区 分		当第3四半期	前年同期	差 引	増減率
特定規模 需要以外 の需要	電 灯	130.4	130.8	△ 0.4	△ 0.3%
	電 力	17.7	18.3	△ 0.6	△ 3.6%
	計	148.1	149.1	△ 1.0	△ 0.7%
特定規模 需 要	業 務 用	83.0	83.4	△ 0.4	△ 0.4%
	産 業 用 (大口再掲)	199.3 (166.5)	206.4 (172.9)	△ 7.1 (△ 6.4)	△ 3.5% (△ 3.7%)
	計	282.3	289.8	△ 7.5	△ 2.6%
	合 計	430.4	438.9	△ 8.5	△ 1.9%

● 発電電力量

自社の水力発電は、前年同期に比べ出水減により減少しました。原子力発電は、運転停止により減少しました。

自社の火力発電および他社受電は、販売電力量の減少があったものの、原子力発電の運転停止や融通送電の増などにより増加しました。

(単位：億kWh)

区 分		当第3四半期	前年同期	差 引	増減率
自 社	(出水率) 水 力	(86.5%) 22.5	(117.6%) 31.0	(△31.1%) △ 8.5	△27.4%
	火 力	302.8	267.4	35.4	13.2%
	(設備利用率) 原 子 力	(-) —	(64.0%) 54.1	(△64.0%) △54.1	—
	新エネルギー等	0.0	0.0	0.0	770.4%
	計	325.3	352.5	△27.2	△ 7.7%
他 社 受 電		173.0	150.4	22.6	15.0%
融 通		△18.6	△13.7	△ 4.9	35.4%
揚 水 動 力		△ 6.4	△ 8.9	2.5	△27.2%
合 計		473.3	480.3	△ 7.0	△ 1.5%

3. 連結収支概要

(単位: 億円, 未満切捨)

区 分		当第3四半期	前年同期	(増減率) 差 引	摘 要		
売 上 高	電 気 事 業	電気料金収入	7,289	7,076	(3.0%) 213	燃料費調整制度の影響ほか	
		そ の 他	746	634	(17.6%) 111		他の電力会社への販売電力量 の増ほか
		小 計	8,036	7,711	(4.2%) 325		
	そ の 他 の 事 業	1,740	1,629	111			
	連 結 処 理	△ 942	△ 871	△ 70			
	合 計	[8,344]	[7,988]	[355]			
		8,835	8,468	366			
	営業外収益	105	85	20			
	経常収益合計	8,940	8,553	386			
営 業 費 用	電 気 事 業	人 件 費	864	844	20	原子力運転停止による増ほか	
		原 料 費	燃 料 費	2,769	2,206		562
			他社購入ほか	1,642	1,492		149
			小 計	4,411	3,699		712
		修 繕 費	838	683	154		
		減 価 償 却 費	761	831	△ 69		
		原子力バック エンド費用	45	99	△ 54		
		そ の 他	1,232	1,185	46		
	小 計	8,154	7,344	(11.0%) 809			
	そ の 他 の 事 業	1,639	1,541	97			
	連 結 処 理	△ 940	△ 871	△ 68			
合 計	8,853	8,014	(10.5%) 839				
	[支払利息]	[183]	[192]	[△9]			
	営業外費用	273	287	△ 13			
	経常費用合計	9,127	8,301	825			
	営業利益	[△115] △ 18	[365] 453	[△480] △ 472			
	経常利益	[△246] △ 187	[195] 251	[△441] △ 439			
	渴水準備金	△ 20	18	△ 39			
	原子力発電工事 償却準備金	10	68	△ 58			
	法人税ほか	△ 40	169	△ 209			
	四半期純利益	[△162] △ 136	[△11] △ 4	[△150] △ 132			

(注) ・〔 〕内は、中国電力個別決算の数値を記載しています。

・「原子力バックエンド費用」は、使用済燃料再処理等費、使用済燃料再処理等準備費、特定放射性廃棄物処分費、原子力発電施設解体費の総額を記載しています。

4. セグメント情報

(単位：億円，未満切捨)

区 分		電気事業	総合エネルギー 供給事業	情報通信事業
売上高	当第3四半期	8,036	376	280
	前年同期	7,711	341	271
	差 引	325	35	9
営業費用	当第3四半期	8,154	364	230
	前年同期	7,344	333	229
	差 引	809	30	1
営業利益	当第3四半期	△ 117	12	50
	前年同期	366	7	42
	差 引	△ 484	4	7

● 電気事業

当第3四半期は、販売電力量が 430.4 億 kWh と前年同期に比べ 8.5 億 kWh の減となったものの、燃料費調整制度の影響などにより、電気料金収入は 213 億円増加しました。これに加え、他の電力会社への販売電力量が増加したことなどから、売上高（営業収益）は 8,036 億円と、前年同期に比べ 325 億円の増収となりました。

経営全般の効率化に努めたものの、島根原子力発電所 1, 2 号機の運転停止等による原料費の増加などから、営業費用は 8,154 億円と、前年同期に比べ 809 億円の増加となりました。

この結果、営業損益は 117 億円の損失となり、前年同期に比べ 484 億円の減益となりました。

● 総合エネルギー供給事業

石炭販売事業の売上の減少はあったものの、LNG 販売事業などの売上が増加したことから、売上高（営業収益）は 376 億円と、前年同期に比べ 35 億円の増収となりました。

燃料価格上昇等による原料費の増加などから、営業費用は 364 億円と、前年同期に比べ 30 億円の増加となりました。

この結果、営業利益は 12 億円となり、前年同期に比べ 4 億円の増益となりました。

● 情報通信事業

情報処理事業収入や法人向け事業収入が増加したことなどから、売上高（営業収益）は 280 億円と、前年同期に比べ 9 億円の増収となりました。

委託費の増加などから、営業費用は 230 億円と、前年同期に比べ 1 億円の増加となりました。

この結果、営業利益は 50 億円となり、前年同期に比べ 7 億円の増益となりました。

5. 業績予想

- 売上高(営業収益)

前年度に比べ販売電力量の減となるものの、燃料費調整制度の影響などによる電気料金収入の増加などにより連結・個別ともに増収を見込んでいます。

- 営業利益, 経常利益, 当期純利益

経営全般の効率化に努めているものの、島根原子力発電所の運転停止等による原料費の増加が見込まれることなどから、連結・個別ともに大幅な減益を見込んでいます。

【連結業績予想】

(単位：億円)

区 分	24 年度予想 (対前年増減率)	23 年度実績
売 上 高	11,960 (1.2%)	11,813
営 業 利 益	△140 (-)	550
経 常 利 益	△380 (-)	298
当 期 純 利 益	△280 (-)	24

【個別業績予想】

(単位：億円)

区 分	24 年度予想 (対前年増減率)	23 年度実績
売 上 高	11,270 (1.0%)	11,157
営 業 利 益	△250 (-)	430
経 常 利 益	△470 (-)	203
当 期 純 利 益	△330 (-)	△13

- 前提となる主要諸元

項 目	24 年度予想	23 年度実績
販 売 電 力 量	587 億 kWh 程度	600.7 億 kWh
為替レート(インターバンク)	82 円/\$ 程度	79 円/\$
原 油 C I F 価 格	114 \$/b 程度	114.2 \$/b
原子力設備利用率	—	52.6%

- 主要諸元の変動影響額

項 目	変動幅	24 年度予想
為替レート(インターバンク)	1 円/\$	54 億円
原 油 C I F 価 格	1 \$/b	29 億円
原子力設備利用率	1%	16 億円

以 上